

賛助会北信

令和3年11月25日発行
第 135 号
(公財)長野県長寿社会開発
センター北信地区賛助会
発行者：前澤 政宏

疫病退散



会員の皆さん、息災にてお過ごしのことと思
います。コロナ感染者もだいぶ減少傾向にあります。
今後、第6波が来ないとも限りません。完全終息
まで気を引き締めてまいりましょう。北信地区賛
助会の諸行事は総て中止としました。組織維持の
ため、来年度は頑張らねばと思う次第です。

長寿社会開発センター最大の行事でありますねんりんピックは、コロナ感染防止策を徹底して
実施されましたが、スポーツ交流会は中止されました。

信州 SHINSHU ねんりんピック NENRINPIC

文化・芸術 交流大会

オンライン交流会

2021 9月11日(土)
13:00-15:30

2021

令和3年

多くの人たちがこれから迎える人生100年時代。
誰も経験したことはないけれど
今この時代、同じ地域で生きている私たち。
あれこれお喋りしていく中で、
明るい未来や希望が見えてくるかもしれません。
信州ねんりんピックも今年はオンラインでやってみましょう！
インターネットへの接続が難しい、
またはズームにちょっぴり自信のない方も
ご自宅近くのサテライト会場にお運びください。

会場

県内 11 か所のサテライト会場で
参加・視聴できます！

佐久市：こども未来館
上田市：社会福祉法人まるこ福祉会「きらりホール」
諏訪市：駅前交流テラスすわっチャオ
伊那市：防災コミュニティセンター
飯田市：松尾公民館ホール
木曾町：木曾合同庁舎
安曇野市：穂高公民館
松本市：市民活動サポートセンター
大町市：フレンド・プラザ大町
長野市：更北公民館
飯山市：文化交流館なちゅら小ホール

参加
無料

交流会プログラム

動画配信

長野県内の元気な
シニアの活動を紹介

トークセッション

お互いから学び合う未来

三世代寄れば文殊の知恵

コメンテーター 木下巨一さん

長野県生涯学習推進センター所長

ファシリテーター 内山二郎

2021 信州ねんりんピック実行委員長





9月11日(土)、2021 信州ねんりんピックオンライン交流会が開催されました。今年も新型コロナウイルス感染防止の観点から、一堂に会して開催することはできませんでしたが、初めてオンラインでの交流会という形で行うことになり、県内各所から160名が参加され、そのうち北信地区は17名(事務局も含む)でした。

当初は、飯山市文化交流館「なちゅら」をサテライト会場として40名ほどが参加予定でしたが、直前になってオンラインによる個人参加へと変更になってしまいました。直前の変更にも関わらず、賛助会員6名、シニア大生7名がオンライン会議システム「Zoom」に挑戦し、接続テストを何度か重ね、当日は無事全員が参加できました。

今年のテーマは「**お互いから学びあう未来～三世代寄れば文殊の知恵～**」です。

メイン会場を長野合同庁舎とし、そこからファシリテーターの内山二郎氏(2021 信州ねんりんピック実行委員長)とコメンテーターの木下巨一氏(長野県生涯学習センター所長)が県内各地を結んでトークセッションを行いました。

まず、今年の担当中信地区の松本・大北・木曾のシニアの活動動画の紹介からスタートです。松本は松本地区賛助会「3世代交流会」について、大北は安曇野ちひろ公園での「トットちゃんの夏祭り」、木曾は木曾に移り住んだアートを志す都会の若者と地元の人たちとのコラボレーションについて、でした。

続いて、長野・佐久・飯伊・伊那と結んで、活動を紹介していき、伊那の次が北信でした。北信からは木島平支部の岩井眞里子さんが活動紹介をしてくれました。岩井さんはシニア大学北信学部の卒業生で賛助会員でもあり、現在「学校支援ボランティアひまわり」グループでシニア大時代の同級生と一緒に活動しています。子どもたちとの関わり、それによって得られる「充実感」や「やりがい」、一緒に活動できる仲間の大切さなどを話していただきました。

今回 Zoom にチャレンジした賛助会員の方からは「良い刺激になった！オンラインは一方通行でもなく対話もできて交流ができる。これからの時代はこれだね！」「今後もオンラインでの交流ができたらいいいね」といった感想が寄せられました。賛助会員の皆さんで「Zoom、興味がある」という方はぜひ北信支部へご相談ください。また、今回のオンライン交流会の様子は YouTube で配信されていますので詳しくは北信支部(0269-62-3725)までお問い合わせください。

——あとがき—— 賛助会の皆さんと大型バスに乗ってねんりんピックへ行った日が、懐かしく思い出されます。来年？ 再来年？にはまた皆さんとバスに乗って、ねんりんピックへ行けるようになればいいな、と思っています。北信地区は大型バスで乗り付けて、大勢で来てくれる…と各地区に喜ばれていますので、ぜひそんな日が早く来ますように…。ちなみに来年は南信です。

飯山支部の峰村眞さんから手記を寄せていただきましたので紹介します。

オンライン交流会に参加して 飯山支部 峰村眞

コロナ禍の中、初の試みである今年のねんりんピックオンライン交流会が9月11日に開催され参加しました。



先ずは各地で活動している事例が、型にはまった式場ではない、居ながらにして自宅で目にし耳にすることができたことです。そして何よりもその場で気軽に、話し合い、交流できる魅力がこの先に見えてきたからです。

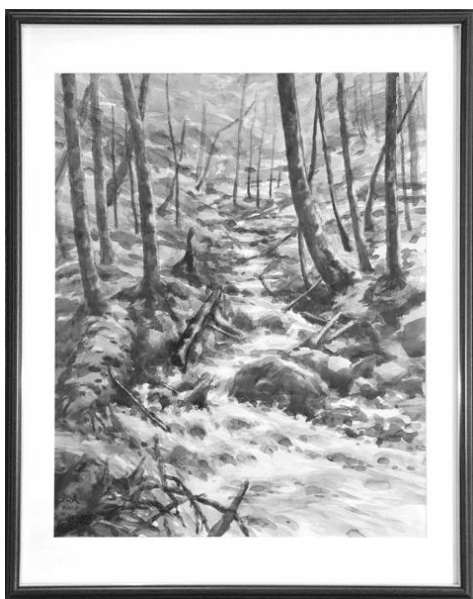
高齢者にとって特にコロナ禍の中、閉じこもりぎみな現状では、このオンラインで話し合いができることは画期的・魅力的な出来事だといっても過言ではないと思います。

木島平支部 岩井眞里子さんの発表、学校支援ひまわりの事例では、ボランティアでありながら逆に子供たちから力をもらっているとのこと、そして学校からの依頼が広がっていること、他の地区からも意見が寄せられていて、「北信だけじゃないんだ」と盛り上がりました。

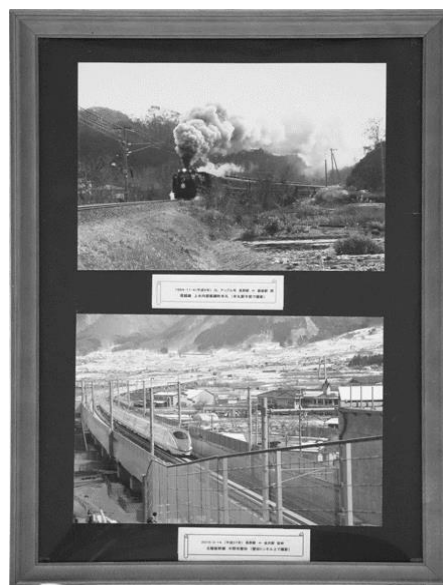
そして今後期待できることは、シニアだけでなく異世代、異業種、意見の違う人等幅広く交流できる多様性があることです。ただ壁があります。インターネットの接続問題セキュリティーもしており、またその企画立案です。システムも含め今後の課題を淘汰して実現したいものです。

作品展は9月8日(水)・9日(木)に審査会を行い、全作品を長野県長寿社会開発センターのホームページで紹介しています。

会員では9名の方が出品され、2名が奨励賞となりました。



清水勅夫さん 飯山支部
「千曲川源流をたずねて」



綱嶋大助さん 中野支部
「信越線SLアップル号・
北陸新幹線の延伸」